

# いくら？どうなる？駅前開発

東村山市は、東村山駅・久米川駅・秋津/新秋津駅周辺の3か所を中心にまちづくりを進めています。2024年度予算では多額の委託費用が計上。駅前開発に掛かる費用総額は、今後どうなるのか不透明です。

## 東村山駅周辺まちづくり計画事業費

	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
<b>東村山駅周辺予算総額</b>	<b>2426 万円</b>	<b>4614 万円</b>	<b>4159 万円</b>	<b>3590 万円</b>	<b>5284 万円</b>
内訳	鉄道立体関連まちづくり推進業務委託料				2282 万円
	駅周辺まちづくりデザイン検討業務委託料				1382 万円
	駅東口地区コーディネート業務委託料		264 万円	546 万円	1613 万円
久米川駅南口駅前広場再整備検討業務委託料			761 万円	1713 万円	1989 万円
秋津駅南口周辺地区 まちづくり推進業務委託料		578 万円	599 万円	900 万円	907 万円
<b>3 駅合計の予算額</b>			<b>5519 万円</b>	<b>6203 万円</b>	<b>8180 万円</b>

※各年度東村山市予算書を元に作表

**具体的には何に使う？** 東村山らしい一体感のある  
**東村山駅では・・・** 風景を実現していくため、

連続立体交差事業・東口駅前広場の再整備・東口の高度利用・高架下空間の利用・東西導線の整備を推進。民間主導の事業も想定。

**鉄道立体関連街づくり推進業務 2282万円**

東口駅前リニューアルに向けて 東村山駅東口駅前広場再整備基本計画を策定。交通の導線、交流空間について実証実験を検討。

**まちづくりデザイン検討業務 1382万円**

R6 より2年間でデザインの基本指針を策定。駅周辺のデザインをテーマにワークショップを行い、デザインについて共有・調整できる場や仕組みの構築、エリア全体の価値向上につながるデザイン基本指針となるよう検討を深めていく。

**コーディネート業務 1613万円**

駅東口地区約6ヘクタールの土地の高度利用についてエリア単位で検討。R6 は準備組合設立に向けて、運営支援・街区について施設計画や事業モデル等の検討を行い基本計画案策定。

※議会答弁を元に作成

## 皆さんはどう思いますか？

東村山駅周辺の開発だけ見ても、2024 (R6) 年度予算総額5284万円のうち9割以上にあたる4884万円が東村山市の一般財源(国・都からの財源に頼らない市独自の財源)です。

様々な要望があっても「東村山市にはお金がないから」と、あきらめている方は多いですが、どこにどんな財源を充てるのか、市の裁量で決められることは色々あります。

連続立体交差事業と合わせた駅前整備をゼロにすることはできませんが、3種類の委託事業を実施し、長期間にわたり税金を投入し続けることには納得できません。使い方の精査をすれば、もっと市民の声に答えることができるはずではないでしょうか。

**5月 各町で市議会報告をやります！  
皆さんのご意見をお聞かせください**

11日(土) 13時半 富士見図書館2階  
18日(土) 午後 多摩湖町都営アパート  
26日(日) 13時半 廻田町ふれあいセンター

## ボランティア募集中

宣伝でプラスターを持つ・宣伝カーに乗る・ご自宅にポスターを貼る・チラシ配布・バナー作成

しんぶん赤旗日刊紙(3497円)・

日曜版(930円)購読しませんか

裏金問題、統一協会、外環道のスクープはしんぶん赤旗から。今、発行の危機にあります。応援よろしくお願ひします!

## 5月の朝宣伝予定

7日(火) 西武園駅  
14日(火) 八坂駅  
20日(月) 武蔵大和駅  
21日(火) 多摩湖駅